

2023（令和5）年度 東京大学 入試問題 第1問 解答例

- 一 仮面の文化が世界の随所で酷似し、人類の普遍的思考や行動を表す点で、その研究は、人類一般の本質に通じうること。
- 二 仮面は、異界の力を可視化しコントロールする宗教的な道具ではなくなっても、仮面固有の存立意義を維持しうること。

*この設問には、仮面の「固有性」の具体的内容である「顔を隠す」にまで触れなくともよいであろう。書いても誤りではないが、字数にやや無理がある。

- 三 仮面は、かぶり手自身には絶対に不可知の、他者が自己を自己として認知する要である顔を隠し、変えてしまうということ。
- 四 人類に普遍的な仮面の特性は、仮面のかぶり手を異界の存在として積極的に働きかけることと、常に動揺するかぶり手自身の顔を変えて固定し、世界との関係を固定することとにある。いずれも、一時的に不可視なものを目に見える対象とする機能であるということ。（一二〇字）

五

- a 狩猟 b 遂 c 衝